

フタバ ドライバー認定制度創設へ 来年度からスタート ヤマトから講師招き講習

廃棄物処理業者のサービス品質向上とネットワーク化を進めるエコスタッフ・ジャパン(ESSJ)。東京・中央、田部和生社長、☎03・5201・3926)は2009年度をめぐり「ESSJドライ

バー制度」を創設することになった。国土交通省が所管するドライバー認定制度に沿った内容のもので、排出事

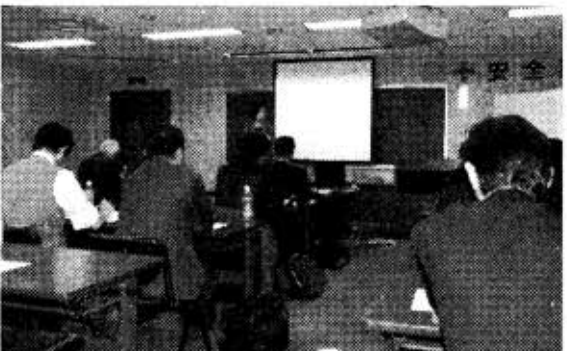
業者や一般社会からの安心・安全の収集運搬の要望に応える。11月21日には東京都内で、制度創設を視野に第7回マネージャー研修を行った。田部社長は「安心安全の処理サービスの提供を目的に、発足して3年がたった。ドライバー研修などの取り組みを充実させた」と述べた。

今回はドライバー研修の2回目となるもので、研修内容を会員各社が自社のドライバー

養成に活かすこと、ESSJドライバー認定制度への準備を進めることがテーマ。ESSJの研修を担当する環境ワークス・黒崎由行社長は「会員各社にも認定のためのトレーニングに協力してほしい」と述べた。

研修では、ヤマト・スタッフ・サプライの小林美欧事業戦略室マネージャーが「効果的なドライバー研修の進め方」『顧客満足』と『クレーム対応』をテーマに講演と参加各社によるワークショップを行った。小林氏はヤマト運輸の組織のあり方について、最も優先して考えなければならぬのが「お客様」であり、それをベースにセールスドライバーからはじまる会社組織があると説明。帰属意識や仲間意識を持ってもらい、ドライバー一人ひとりの力が重要になるとした。

会員会社からも、8月に行われた第1回目の研修で示されたチェックシートを参考に自社の職場環境やドライバーの意識の調査を行った取り組みが紹介された。



収運事業にもさまざまなノウハウがある